

SS 研 教育・研究システムフォーラム 2026

「AI エージェント時代の新常識」

－ 教育・研究における AI セキュリティの最前線 －

～ SS 研会員に限らず、どなたでもご参加いただけます ～

- 日時 : 2026 年 8 月 4 日(火) 13:00～17:10 (受付 12:30～) 【 終了後 17:30～ 懇親会 】
- 場所 : Fujitsu Uvance Kawasaki Tower (JR 川崎タワー) 20 階 大会議室 [神奈川県川崎市幸区大宮町 1-5] ハイブリッド開催 集合 + オンライン配信 (ZOOM)
- 参加費 : フォーラム 無料、 懇親会 500 円 (懇親会は会員外ベンダーの参加はご遠慮ください)
- 開催趣旨

近年、生成 AI をはじめとする AI 技術は、教育・研究・大学運営のさまざまな場面に急速に浸透しており、単なる「AI を利用する時代」から、AI を「業務や情報基盤の一部として活用・運用する時代」へと移行しつつある。特に近年は、利用者の指示に基づいて自律的に情報収集やシステム操作を行う「AI エージェント」の実運用が現実味を帯び始めており、大学においても教育支援、研究支援、問い合わせ対応、事務業務など、多様な分野での活用が期待されている。

一方で、AI エージェントの活用が進むにつれ、大学の情報セキュリティやガバナンスの在り方にも新たな課題が生じている。AI が人の代理として業務やシステムを操作する時代においては、従来の「人が利用すること」を前提とした情報システムやセキュリティの考え方だけでは対応が難しくなりつつあり、新たな“常識”が求められ始めている。AI エージェントにどこまで権限を与えるのか、AI が情報システムへアクセスする際の認証やアクセス制御をどのように考えるのか、また AI に業務を自動化させる際に、何を AI へ委ね、何を人が判断すべきなのかといった点について、多くの大学が模索を続けている。さらに、AI 利用に伴う情報漏洩や不適切利用への対応、AI ガバナンスやリテラシー教育、説明責任の確保など、技術面だけではなく制度・運用面を含めた総合的な検討も求められている。

こうした背景を踏まえ、本年度の教育・研究システムフォーラム 2026 では「AI エージェント時代の新常識 — 教育・研究における AI セキュリティの最前線 —」をテーマとし、AI 時代における大学の新たなセキュリティ課題とその対応、そして AI エージェント時代に求められる「新常識」について議論を行う。具体的には、AI エージェントと認証・デジタルアイデンティティ、教育・研究現場における AI 活用とリスク管理、AI ガバナンスや制度設計など、多角的な視点から、大学における AI セキュリティの在り方について議論を深めていきたい。

■ プログラム (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。)

-敬称略-

12:50～	ウェビナー接続開始
【司会】久保田 真一郎 (熊本大学)	
13:00～13:05	開催趣旨説明 藤村 丞 (福岡大学)
13:05～13:45 講演 40 分	講演 1 「大学における AI 利活用とセキュリティリスク」 柿崎 淑郎 (東海大学) 生成 AI をはじめとする AI 技術は、大学の教育・研究、さらには運營業務のあり方を急速に変革しつつあります。その利便性が注目される一方、学内データの取り扱い、シャドー AI 問題、自律的な AI エージェントの権限管理など、情報セキュリティ上の新たなリスクやガバナンスの課題が顕在化しています。本講演では、大学運営において AI を安全に利活用するために、直面するセキュリティリスクの全体像を俯瞰しながら、今後の対応の方向性を考察します。
13:45～13:55	休憩(10 分)
13:55～14:35 講演 40 分	講演 2 「Agentic AI 時代のサイバーセキュリティ：トラスト基盤を中心に」 八槨 博史 (東京電機大学) この 2, 3 年、AI の利用は、LLM との対話という初期的段階を過ぎ、AI による情報システムの制御や複数 LLM の連携によるアプリケーションの構築という新しいステージを迎えている。そこでのアクセス制御については旧来の分散システムの枠組みどころか、それを無効化するような乱雑な使用法が横行しており、他方 AI を提供する事業者の「対策」は方向性が疑わしい。本講演では、現状を概観した上で、そこに不足しているトラスト基盤について考察する。

(裏面に続く)

14:35～14:45	休憩(10分)
14:45～15:25 講演 40分	講演3 「生成AI・AI エージェント時代の新たなセキュリティ 富士通の生成AI セキュリティ強化技術」 及川 孝徳（富士通株式会社） 生成AI・AI エージェントが社会の基盤として浸透する中、AI 自身が抱えるセキュリティリスク（プロンプトインジェクション、ハルシネーション、データ汚染など）への対応は喫緊の課題となっています。本講演では、生成AI・AI エージェントを安全かつ信頼性高く運用するための富士通の生成AI セキュリティ強化技術をご紹介します。
15:25～15:35	休憩(10分)
15:35～17:05 90分	パネルディスカッション 「AI エージェント時代の新常識 － 教育・研究におけるAI セキュリティの最前線 －」 [司会] 木戸 善之（関西大学） [パネリスト] 柿崎 淑郎（東海大学） 八槨 博史（東京電機大学） 三原 哲（富士通株式会社）
17:05～17:10	閉会挨拶 田邊 俊治（国立情報学研究所）

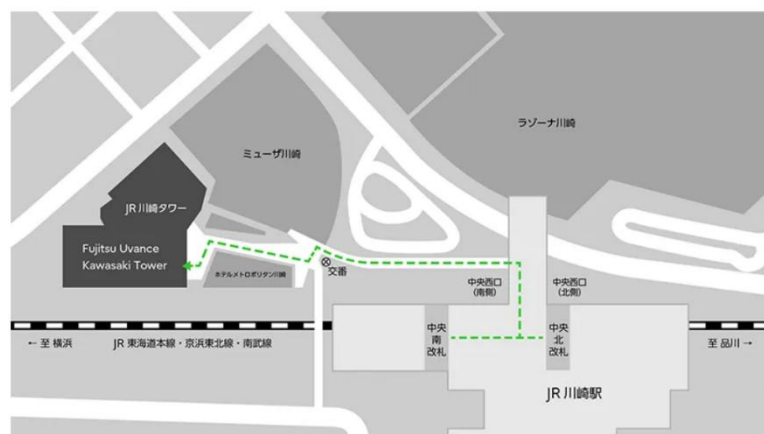
17:30～18:30 懇親会（会員外ベンダーの参加はご遠慮いただきます）

※会費制：500 円

お飲み物とおつまみの簡易パーティです。お気軽にご参加下さい。

■ アクセス

- ・ JR 川崎駅西口から徒歩 3 分
（屋根付きデッキ直結）
- ・ 京急川崎駅から徒歩 10 分



■ 参加方法

- 現地でご参加の方：名刺を 1 枚ご準備いただき受付にてご提示をお願いいたします。
会場入場用の QR コードをご用意ください。
（お申込をいただいた方に、7 月 30 日～31 日頃メールでお送りします）
- オンラインでご参加の方：ZOOM ウェビナーへの参加 URL は 7 月 31 日頃ご連絡させていただく予定です。

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。 <https://www-uf01.ufinity.jp/ssken/>



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会(SS 研) 事務局
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町 1-5 JR 川崎タワー
富士通株式会社 ミッションクリティカルシステム事業本部
テクニカルコンピューティング事業部内
Email:ssken-office@ml.css.fujitsu.com